

序文に代えて 井口海仙 (2)

緒論 (28)

第一章 器具

風炉 (34)

風炉の起源

風炉の種類

風炉の真行草

好み風炉と風炉師

五徳 (42)

五徳の名称

風炉と炉の区別

五徳の種類

前土器 (46)

前土器の起源

前土器の使用法

灰器 (50)

灰器の名称と起源

灰器の炉、風炉の区別

灰器の種類

好物の灰器と作者

半田について

灰

匙

灰匙の名称と起源

炉、風炉の区別

灰匙の種類

灰匙の使用法

敷板と敷瓦

(59)

敷板と敷瓦の種類

使用の区別と好物

第二章 風炉灰の仕様

風炉灰仕様の準備から仕上げまで……(66)

敷紙と底土器

灰の入れ方

五徳の据え方

形造り

前土器の立て方

前土器と五徳との関係

前土器と釜底との関係

釜と風炉との関係

七歪について

姿勢と心構え

灰匙の選定

灰匙の使い方

仕上げについて
仕上がってから

灰形の種類と仕様

(85)

灰の種類

二文字押切灰

二文字搔上灰

丸灰押切

丸灰搔上

遠山灰（一つ山）

遠山灰（左勝手）

遠山灰（二つ山）

向山灰

向一文字前谷灰

蒔灰について

(109)

蒔灰の由来

蒔灰の仕様

蒔灰の量と入れ方

第三章 特殊灰

瓶掛の灰
献茶の灰
藁灰
火入灰
灰の繕い

特殊灰

116

第四章 風炉灰の常識

付隨する道具

128

雪洞について

仕付鉗

釜の正面

風炉の拝見

仕舞い方

132

風炉

五徳

敷板

釜
風炉
五徳
敷板
灰

あとがき

140